

---

# けいおん！O.S.

IC

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

けいおん！O.S .

### 【Nコード】

N2973N

### 【作者名】

IC

### 【あらすじ】

けいおん！のオリジナル小説です。オリジナルと言っても基本アニメ、原作道理に進めていき時々オリジナルをいれたいと思っています。結構、キャラが壊れてるかもしれませんがご了承ください。気分を変えて始めた三作目です。更新は亀なみとっていて下さい。

## #0「Prologue」(前書き)

始めてしまいました三作目。それでは、どうぞ

## #0「Prologue」

空は晴れ渡り雲が流れてる

季節は冬、外を歩くには寒い季節になった

そんな道を俺達三人はあるいていく

「どうして、こうなったんだ？」

「……………すまん」

俺の隣にいる黒髪の女の子が申し訳なさそうに言う

「いや、お前が謝る事じゃないからな」

「そつだぞ漣」

「お前が言っな！」

「あいた！」

漣と呼ばれた黒髪の女の子に殴られたのは茶髪にショートカットにカチューシャをした女の子

「まあ、律の誘いを断らなかった俺にも非があるんだからそんなに怒ってやるなよ」

「そつだそつだ」

「・・・佑太がそういっなら」

そうして、無言になり歩いていく

目的地は同じ来年度から女子校から共学へと変わった私立桜が丘高校

今日はその合格発表の日だ

はあ〜本当になんでこうなったんだっけ？

確かあれは数か月前・・・

「お~~~~い！ゆ〜た〜！」

「あん？」

聞き覚えのある声が後ろから聞こえたので振り返ると幼なじみである田井中律の姿があり彼女にガツと両肩を掴まれる

「一緒に桜が丘に行こうぜ！」

「はい？」

「はい！って言ったよな！今、はい！って！よし決まりだ！」

何を勘違いしたのかいつの間にかそのまま律に腕を引かれ職員室に連れていかれそうになる

「ちよっ「いや〜、佑太が話がわかってくれる奴で良かった」「いや、桜が丘って女子こ」それに、桜が丘も来年から共学になるって言うしちよっどよかったなあ〜」・・・マジで？」

そのまま、腕を引かれて行き担任に報告され訳もわからないうちに俺は私立桜が丘高校を受験する事になった

確か、こんな感じだったかな

「お、着いたみたいだな」

いつの間にか桜が丘高校の門の前まで来ていたようだ

多くの学生服が見えるがやっぱり比率的に女子の方が多い

やっぱ、まだ女子校って意識が強いらろっな

「つゝかさ、なんで佑太はそんなに落ち着いてんだよ！」

「いや、今更慌てたって結果は出てるわけだしな」

「そりゃ、そうだけどさ〜、もし、自分だけ落ちてたら、なんて考えちゃうとさ〜」

「自分だけ落ちてる……」

律の言葉に漑が敏感に反応する

「「あ」」

「……自分だけ……一人だけ……人ぼっち」

あ〜あ、漑がネガティブになっちゃったよ

「……律」

「わ、わるい、佑太、頼んだ」

「はあ〜」

こうなった漑を元に戻すのって面倒……ってか、恥ずかしいんだよな

ポンッと漑の頭に手を置く

「あっ」

「大丈夫だから、みんな受かってるから漑が一人になるってことは無いからな」

撫でながら涙を落ち着かせる

昔からこうすると涙はすぐに落ち着いてくれた

ナデポの特殊能力なんて無いからな

この年になってもやるのはかなり恥ずかしい

主に周りの目が

「もう、大丈夫か？」

「・・・うん／＼」

「よし！んじゃ、行くか」

そして、俺達は合格発表者が張り出されている掲示板へと向かった

結果から言うと俺達三人は合格していた

それは良かったんだが、問題は・・・

「あった！あったぞ！私達の番号！」

「ほ、ホントだ！あつたよ！佑太！」

「あ、ああ、そ、それはよかったから」

自分の番号があつて興奮してるのはわかるがお前ら

「……………離れてくれ」

俺の両側から抱きついてくんな！

抱き合っんならてめえら二人で抱き合わんかい！

この行動のおかげで俺達は周囲から嫉妬やらほほえましいやらいろんな種類の視線が集中してんだよ！

来年からの高校生活……………前途多難だな

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2973n/>

---

けいおん！O.S.

2010年10月14日14時57分発行